

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	カルチャー講座	
科目基礎情報					
開設学科	医療事務科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	演習		
教科書/教材	今日からはじめるやさしい手話/学研				
担当教員情報					
担当教員	高須　一美		実務経験の有無・職種	有・手話通訳士	
学習目的					
手話は、手指動作と非手指動作を同時に使う視覚言語で、音声言語と並ぶ言語である。手話は、手の位置、手の形、手の動きなどを組み合わせて意味を伝える表意記号で、聴覚障がい者とのコミュニケーション手段の一つである。単なる身ぶり記号の組み合わせではなく、いくつかの言語的な特徴を備えた意思伝達のシステムである。医療に関わる者として、聴覚障がいのある患者様に対しての応対が出来る様にする必要がある。					
到達目標					
手話を使って、病院内での聴覚障がいの患者様へ、「あいさつ、伺い、医療に関する用語」などの応対が出来る様になる。 また、耳が聞こえないことに対して、正しく理解する。					
教育方法等					
授業概要	基礎からゆっくり、身につくように、楽しみながら実践に使える手話を学ぶ。				
注意点	実際に手話を用いて授業を進める。積極的に参加する様にする。 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。				
評価方法	種別	割合	備　考		
	試験・課題	70%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ガイダンス		授業の進め方、手話の必要性、基本的な手話		
2回	基本的な手話（1）		挨拶の表現		
3回	基本的な手話（2）		名前の表現、住所や地名の表現		
4回	基本的な手話（3）		声掛けに使用できる手話を学ぶ		
5回	基本的な手話（4）		指文字の表現		
6回	基本的な手話（5）		数字の表現と日時の表現		
7回	基本的な手話（6）		予約時間や金額の表現		
8回	基本的な手話（7）		曜日・時制についての表現		
9回	病院で使用できる手話（1）		聴覚障がい者の方とのコミュニケーションについて		
10回	病院で使用できる手話（2）		趣味・家族に関する手話		
11回	病院で使用できる手話（3）		疑問詞①		
12回	病院で使用できる手話（4）		疑問詞②		
13回	病院で使用できる手話（5）		自己紹介をしてみる、歌に手話をつけてみる		
14回	病院で使用できる手話（6）		患者様と手話でコミュニケーション		
15回	全体的なまとめ		これまでの授業の振り返り、実習試験		